

## 特集

## 平成の大牟田を振り返る



9年3月30日、三池炭鉱最後の昇坑



三池炭鉱閉山式典

三池炭鉱閉山



とびうめ国体が華やかに開催



全国大会で優勝した大牟田高校駅伝部が市民栄誉賞第1号に

17年	16年	15年	14年	13年	12年	11年	9年	7年	6年	4年	3年	2年	元年
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----

学福岡医療技術学部	「松屋」経営再建断念	ありあけ新世高等学校開校	大牟田初の4年制大学「帝京大										
17年	16年	15年	14年	13年	12年	11年	9年	7年	6年	4年	3年	2年	元年
年に始まった有料指定ごみ袋	エコサニクセンター大牟田オープン	「ゆめタウン大牟田」オープン	井筒屋大牟田店営業終了	市の木、市の花デザイン決定	移動図書館ひまわり号終了	リフレスおおむたオープン	三池炭鉱閉山	石炭産業科学館オープン	主要地方道南関・手鑓線開通	ネイブルランドオープン(平成10年閉園)	大牟田市、マスキーガン郡・市姉妹都市締結	動物園新装オープン	カルタツクスおおむたオープン
「松屋」経営再建断念	ありあけ新世高等学校開校	大牟田・荒尾RDFセンター、リサイクル発電所稼動	エコサニクセンター大牟田オープン	「ゆめタウン大牟田」オープン	井筒屋大牟田店営業終了	リフレスおおむたオープン	三池炭鉱閉山	石炭産業科学館オープン	主要地方道南関・手鑓線開通	ネイブルランドオープン(平成10年閉園)	大牟田市、マスキーガン郡・市姉妹都市締結	動物園新装オープン	カルタツクスおおむたオープン
大牟田初の4年制大学「帝京大	学福岡医療技術学部	「松屋」経営再建断念	ありあけ新世高等学校開校	大牟田・荒尾RDFセンター、リサイクル発電所稼動	エコサニクセンター大牟田オープン	「ゆめタウン大牟田」オープン	井筒屋大牟田店営業終了	市の木、市の花デザイン決定	移動図書館ひまわり号終了	リフレスおおむたオープン	三池炭鉱閉山	石炭産業科学館オープン	主要地方道南関・手鑓線開通



17年に始まった有料指定ごみ袋



総合学科校のありあけ新世高校開校



井筒屋を中心に賑わっていた新栄町

消えていく  
まちのシンボル

草木にあった銀水支所



市内を巡回していたひまわり号



まちのシンボル「松屋デパート」も16年に閉店





## 教育環境も変わりました



小・中学校の統廃合が始まりました。ESD の取り組みや中学校の完全給食もスタート。



有明海沿岸道路が三池港まで開通



九州新幹線・新大牟田駅開業



三池港開港100周年記念式典



岬町に誕生した帝京大学新キャンパス

30  
年

29  
年

28  
年

27  
年 26  
年

25  
年

23  
年 20  
年

19  
年 18  
年

有料指定ごみ袋の導入  
市内5か所の支所業務廃止  
「みなし小学校」開校

- 「有明海沿岸道路」大牟田・大川間が部分開通
- 三池港開港100周年
- 九州新幹線新大牟田駅開業
- 「イオンモール大牟田」オープン
- 市立小・中・特別支援学校が一斉にユネスコスクールに加盟
- 「有明海沿岸道路」三池港IC開通
- ありあけ浄水場通水開始
- 「えるる」オープン
- 三川鉱炭じん爆発50年
- 帝京大学新キャンパスが岬町へ
- 「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産登録
- 中学校完全給食スタート
- 新消防庁舎落成
- 宅峰中学校開校
- 記録的寒波により、市全域断水
- 熊本地震が発生、大牟田市でも震度4を観測。被災地支援実施
- 「FMたんと」開局
- 市制施行100周年
- 公式キャラクター「ジャー坊」誕生
- ジャー坊がゆるキャラグランプリ2018で準グランプリ



被災地での災害廃棄物の収集業務

昼夜問わず行われた断水復旧作業

## 世界文化遺産 登録



## 市制施行100周年

さまざまな記念事業が行われ、  
ジャー坊も誕生しました



大正小児童は登録決定の号外新聞を作成し、大牟田駅で配布



登録前から宮原坑でガイド  
していた旧駒馬北小児童

# あなたにとって平成とは令和に望むものは

市民の皆さんにとって平成とはどんな時代だったのでしょうか。多方面で活躍する人に平成を振り返ってもらい、新しい時代に望むことを聞いてみました。

## 安心して暮らすことができる社会に

平成元年生まれで、ずっと大牟田に住んでいます。家庭や友人、先生などに恵まれたこともあり、大牟田が大好きで、離れたいと思ったことはありません。大学の実習先も大牟田市社会福祉協議会でした。実習でSOSネットワーク模擬訓練や地域のサロンなどに参加したのですが、取り組みの素晴らしさに感激し、就職も迷うことなく社協に決めました。さまざまな機関の人と連携をとり、

刺激を受けながら頑張っています。

家庭では2児の母になり、子育て真っ最中です。仕事と育児の両立は大変ですが、子どもの寝顔を見ると疲れも飛んでいきますね。両親が近くにいるもの助かっています。

最近は、子どもを巻き込む悲しいニュースが絶えません。新しい時代は、誰もが安心して暮らすことができる社会になってほしいですね。福祉に携わる者として、もっと経験を積み、社会に貢献できるようになりたいと思います。



社会福祉協議会 総合生活支援担当／社会福祉士

渡部 紗さん



レディースネットワーク  
大牟田市 教育委員

嶋田 桂子さん

## 人の力でまちを元気に

平成9年にレディースモニターとなりました。ちょうど三池炭鉱が閉山となった年です。まちの力が弱くなっていくのが悲しくて、モニターが終了した11年にはレディースネットワークを立ち上げ、微力ながらまちづくりに携わってきました。ここ数年、まちは元気になっていると感じます。世界遺産登録やジャー坊の誕生などの影響もありますが、注目を浴びている認知症や動物園、ビ

ンテージのまちづくりの取り組みなど、「人の力」がまちを元気にしているのだと思います。

一方で、子どもたちも元気です。21年から教育委員も務めていますが、さまざまな学習に取り組む子どもたちは、課題を解決する力や、自分の思いを伝える力が身に付いていて、とても頼もしく感じています。

令和の時代は、より多くの人がまちと向き合いその力が結集し、元気で新しい大牟田のかたちが出来上がっていくとうれしいですね。

## 市民主役のまちづくりを

平成というより、大牟田の歴史を語るうえで炭鉱閉山は外せません。報道に関わる立場から「ひとつの時代の終焉」を感じたものです。ポスト石炭政策でさまざまな施策を見てきましたが、個人的には「認知症の取り組み」に注目しました。大きな基幹産業が無くなり、まちには「自立」が求められ、市民の協力が欠かせないものだったからです。その意味では、認知症の取り組みは、

市民が動き、事業者や行政を巻き込んでまちが一体となるもので、まちづくりそのものでした。実際に市民の声かけで、行方不明者が発見された事例を取材したこともあります。

誰もが安心して暮らすことができるまちづくりに向けて、市民がどんな思いで取り組み、事業者や行政がどう関わっているのか。新しい時代を迎えていま、今一度この取り組みに注目し、顕彰することが、市民主役の新たなまちづくりや地方都市の自立に役に立つように思います。



NHK福岡放送局  
大牟田通信部

原口 敦彦さん



## 改元の記念に合わせて届けました

新たな元号が始まった5月1日、臨時窓口が設けられた市民課には、31組ものカップルが婚姻届けを提出にみえました。届けが終わると皆さんは、お祝いボードの前で記念撮影し、祝福に駆け付けたジャー坊から、お祝いメッセージをもらいました。



皆さん、とても幸せそうですね♪



古賀 千尋さん 敏夫さん

元号が変わるとときに婚姻届けを提出できて、いい記念になりました。世の中が新しくなるときに、私たちもスタートすることができました。穏やかな家庭を作っていくたいです。

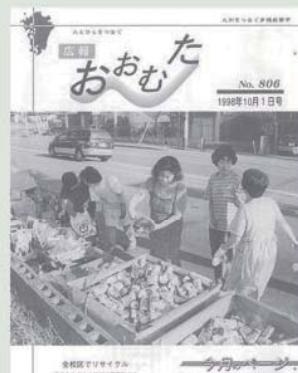
## 平成の「広報おおむた」の歩み

30年間で「広報おおむた」の紙面も変わりました。各号の表紙で、その移り変わりを紹介します。



2年11月1号

とびうめ団体で小・中学生が、かがり火で市内を縦断。紙面は全ページ白黒。

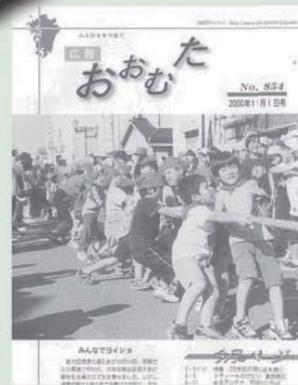


10年10月1号

一部の校区で始まっていた資源物のリサイクルが、市内全校区でスタート。



昭和61年11月号。  
当時の名称は、「市政だより」でした。



12年11月1号

荒尾市と競い合っていた県堺大綱引きでは、子ども綱引きも行われていました。



30年4月1号

駿馬南小児童が、連携プレーで高齢者を救出。今号から現行のスタイルに。



18年11月15日号

キリンのリン君が、名古屋市東山動物園からやってきました。紙面は2色刷り。

